



第49回 ASPAC 年次総会 アデレード大会

事務総長 山田明彦

2024年のASPAC大会はオーストラリア アデレードで開催されました。

登録者数は全体で487名、内日本からは44名でした。

その中には3名のSLP会員も含まれています。

3月6日(水)

- ASPAC 次期ガバナー研修会議
総会に先駆け、次期ガバナー研修会議が開催されました。
日本からは名越次期ガバナーが出席しました。



3月7日(木)

- ASPAC 役員会



9:00 am-3:00 pm の長時間にわたり、ASPAC 役員会が行われました。日本からは、宮崎ガバナー、吉田 KCF 理事、野間 ASPAC SLP 委員長、およびオンラインで小田 ASPAC ガバナンス委員長の4名が出席しました。

- フォーラム
新しいテクノロジーを駆使しての会員増強をテーマとするフォーラムが開催されました。

- 日本地区夕食会
日本地区の会員・家族36名が参加しました。

3月8日(金)

- KCF プレゼンテーション
ハイブリッドで行われた KCF プレゼンテーションでは吉田 KCF 理事が助成金についてのプレゼンをしました。

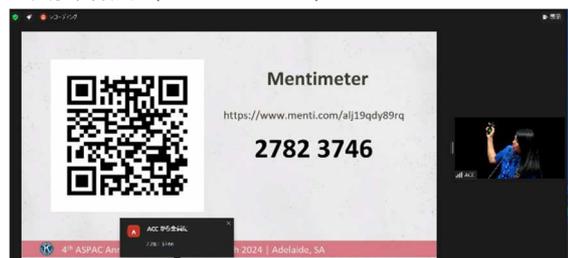


- ワークショップ
今回4つのワークショップが開催されました：
#1 ソーシャル・メディアの最大活用

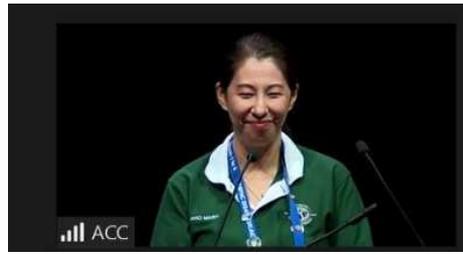


#2 グリーン・ジェネレーション

- #3 SLP ハイブリッド研修 (ハイブリッド)
- #4 会員増強 (ハイブリッド)



この内、#3 SLP ハイブリッド研修では野間 ASPAC SLP 委員長が会場での進行を行ったほか、神戸のカネディアン・アカデミー・キークラブの映像が SLP 版グリーン・ジェネレーション・コンテストのファイナリストに選ばれました。



● 開会式



● 展示審査

日本地区の展示は沖縄クラブの「海あしびな-SUN フェスタ」。審査員には宮崎ガバナーが説明をしました。



● 歓迎夕食会

歓迎夕食会の席では、2月末現在 100 名以上在籍するクラブとして熊本・名古屋・東京・高松・福岡の 5 クラブにダイヤモンド賞、50 名～99 名のクラブとして神戸・埼玉・仙台・和歌山・広島・徳島・岡山・鹿児島・金沢・大垣・静岡の 11 クラブにプラチナ賞のパッチが贈られました。



また、ネパール地震への義援金に対し、ネパール地区から感謝の楯が贈られました。

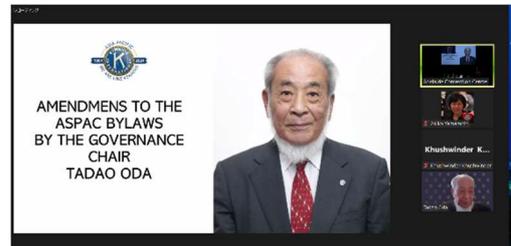
3月9日(土)

● 総会

- 各地区ガバナー・国代表の報告
宮崎ガバナーの報告に続き、鹿児島・群馬クラブの共同プロジェクト「カプセルアート」の動画が紹介されました。



- ASPAC 規約改正案：
小田 ASPAC ガバナンス委員長がオンラインで提案をました。
内容は、数字の表記を変えるなどの非本質的なものと、選挙についての本質的なもの。



- 本質的なものは、
従来の「ASPAC 議長選挙に際しての唯一の候補は ASPAC 次期議長」に加え、「ASPAC 次期議長選挙に際しての唯一の候補は ASPAC 副議長」も規定するという内容です。
通訳の内容がきちんと伝わったかなど、慎重に確認された後、発声投票ですべて承認されました。

- 選挙：次のメンバーが選出されました。

2024-25 ASPAC 議長	Huang Wu-Tien	台湾
2024-25 ASPAC 次期議長	Michelle Cordioli	ニュージーランド南太平洋
2024-25 ASPAC 副議長	Michael Chiew	マレーシア

なお、開票検査人の一人を宮崎ガバナーが務めました。

- 将来の ASPAC 大会招致

将来の ASPAC 大会開催地が下記の通りに決まりました。

2025	台湾	2022 年 ASPAC 大会で決定済み
2026	マニラ	2023 年 ASPAC 大会で決定済み
2027	グアム	
2028	インド ニューデリー	

● 2023-24 及び 2024-25 ASPAC 合同役員会

日本からは宮崎ガバナー、吉田 KCF 理事、野間 ASPAC SLP 委員長の 3 名が出席しました。
この中で次の人事が決まりました。

2024-25 キワニス国代表	Ambrosio Constantino, MPA	グアム
	Judy King	香港

- 閉会式及びさよなら夕食会

- ・ 地区および国による文化プレゼンテーション

日本地区は、会議期間中集まった能登半島地震義援金の御礼とともに、ASPAC 地域全体で自然災害により被災した方々への応援の意味をこめて、和服姿の宮崎ガバナーが「上を向いて歩こう」を熱唱、その後ろで浴衣あるいは羽織を着た出席者が踊り、鳴子を使って場を盛り上げました。



- ・ 各賞受賞者の発表

日本は、長崎クラブの「平和を願う灯籠流し」で応募した奉仕プロジェクトが最優秀賞、ガバナー報告賞が第2位、文化プレゼンテーションが最優秀賞、更にはキワニスワンダー・グリーンジェネレーション・コンテストで東京クラブの作品が最優秀写真賞を獲得するなど、大健闘でした。



▲最優秀奉仕プロジェクト賞
長崎クラブ「灯籠流し」



▲キワニスワンダー・グリーンジェネレーション・コンテスト最優秀写真賞
東京クラブ「寺子屋 in 妙法寺」

令和6年能登半島地震への募金



▲今回大活躍の SLP の皆さん
(グアムのメンバーを含む)

今回出席したサークル K 芦屋の学生2名から現地で能登半島地震への募金をしたいとの申し出があり、合わせてキワニスでも募金を行いました。別途グアムから\$550の寄付もあり、キワニス側の募金総額は日本円への両替後 175,037 円となりました。

(学生さんの募金は 350 米ドル+85 豪ドル+16,000 円だったそうです。)

